

広報



No.186

昭和63年12月15日

発行・編集 国見町企画課

新町長に富永武夫氏	2
昭和63年度上半期財政状況	3
昭和64年度就学予定者	4
献血に74人が協力	5
交通安全全町民大会	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12

おもな内容



'88
12月

やっと、お友達になれたのに

11月14日、大木戸季節保育所の開所式が午前10時から行われました。式のあとおわかれ会が行われ、劇や遊戯、合奏などをして楽しいひとときを過ごしました。

この日は、町内4ヶ所の季節保育所開所式が一緒に行われ、来年の4月までちょっと寂しい、お友達とおわかれになりました。

豊かで住みよい 活力ある町づくりを 目指して



▲町長に就任した富永武夫氏



▲支持者や町職員が迎える中、初登庁する新町長

任期満了に伴う国見町長選挙は、十一月八日告示され、富永武夫・佐藤善右工門の両氏が立候補し、十一月十三日午前七時から町内五ヶ所で投票が行われました。

即日開票の結果、富永氏が四千七百三十七票、佐藤氏が三千六百五十七票で、富永氏が初当選しました。富永町長は、十四日に役場会議室で当選証書を受け、二十八日に初登庁しました。

富永町長は町民の期待を担って、これから四年間、町の最高責任者として新しい町づくりを推し進めます。

就任あいさつ

国見町長 富永武夫

このたび、町民の皆様への付託を受けて町政を担当することになりました。力強い御支援を賜りました町民各位に対し、深く感謝を申し上げます。

私は、今回の選挙の洗礼を受け、今回の選挙の洗礼を受け、立場で町民の皆様と直接触れ合い、生の声を聞いて改めて政治を志すもの自覚と、皆さんが何を求めているかを身に染みてひしひしと感じるとともに、町長の責務の重大さを痛感いたしております。

二十一世紀に向けて

私は選挙を通じて、住民本位の民主的な膚に触れ合う政治を基本として、輝かしい二十一世紀に向けて「豊かで、住みよい、活力あふれるふる里づくり」を訴えてまいりました。このためには町民の皆様との対話を通じて、常に町民の皆様方の立場に立ち、ともに歩む姿勢で町民の総意を反映した行政を進めなければならぬと考えております。

町民総参加の町政を

国見町は、古い歴史と伝統をもち、良好な自然環境と地理的条件、しかも交通の便にはたいへん恵まれております。この好条件を活かし、若年層の定着を図るための優良企業の誘致と既存企業の育成等をはじめ、豊かな居住環境の整備、高齢化社会の対応、教育の充実と未来を担う人づくり、そして町民総参加の町政と効率的な行財政の運営等について、選挙公約で申し上げましたが、力いっぱい頑張っている所存でありますので、町民の皆様への御指導、御協力を切にお願い申し上げます。

町民の皆様への御健勝、御発展を心から御祈念いたしまして、こあいさついたします。

財政公表

一般会計は8億7,371万円の支出

～63年度上半期の財政状況～

今年度上半期(四月から九月まで)の、各会計の財政状況を公表します。
つまり、町財政の収入と支出について、九月三十日現在の中間報告ともいえるものです。この公表は、町条例の規定によって行われるもので、詳しく知りたい人は、役場総務課におたずねください。

Table with 4 main columns: (歳入) 区分, 予算額(円), 収入済額(円), 執行率%. Includes sub-sections for 一般会計 and 執行状況.

Table with 2 columns: 区分, 現在高(円). Lists various categories like 土木, 教育, 福祉, etc.

Table with 4 columns: 区分, 予算額(円), 収入済額(円), 執行率%. Lists 町民税, 固定資産税, etc.

Table with 6 columns: 特別会計名, 予算額(円), 収入済額(円), 執行率%, 支出済額(円), 執行率%. Lists 国民健康保険特別会計, etc.

おめでとう

いざこます

納税功労表彰

昭和六十三年度納税功労者の表彰式が、去る十一月十一日、福島市市民会館で行われました。国見町からは次の四名の方が受賞されました。

その受賞の榮譽をたえ、長年のご労苦に対し深く感謝いたします。

福島税務署長表彰(納税功労者)

- 本田 吉助 (本町)
- 佐久間正寛 (第十二)



本 田 吉 助さん



佐久間 正寛さん

同(優良青色申告者表彰状受賞者)

- 佐久間 信 (第十二)



佐久間 信さん

福島地区納税貯蓄組合連合会 長表彰

- 菅野 正也 (板橋)



菅 野 正 也さん

献血に74名が協力

十一月二十二日、県の移動採血車が来町しました。今回は国見製菓前をはじめ、町内四ヶ所で献血活動を行い、74名(申し込み者は109名)のかたがたにご協力をいただきました。

献血ありがとうございました

(順不同・敬称略)
印の方は四〇〇cc協力者です。

(一般協力)

- 斎藤 正若 林利子

- | | | | |
|----------|--------|--------|-------|
| 佐久間 ヒロイ | 小西 邦子 | 古山 隆 | 菅野 洋子 |
| 半田 ふさ子 | 松浦 光男 | 鈴木 喜久雄 | 佐藤 一男 |
| 斎藤 由美子 | 松浦 毅 | 鈴木 義夫 | 菊池 孝子 |
| 八島 富一 | 高橋 秋子 | 島貫 芳宏 | |
| 高橋 吉晴 | 豊田 進 | | |
| 福村 正美 | 斎藤 光信 | | |
| 斎藤 義夫 | 竹田 みつ子 | | |
| 遠藤 義夫 | 後藤 せき子 | | |
| 八島 宏 | 阿部 洋一 | | |
| 阿部 博 | 松浦 祐子 | | |
| 松浦 定子 | 桜沢 忠市 | | |
| (国見タイツ) | | | |
| 佐藤 邦子 | 水野 治子 | | |
| 阿部 君子 | 山 ふじ子 | | |
| 村木 公子 | | | |
| (国見製菓) | | | |
| 彦坂 幸恵 | 菊地 ミワ | | |
| 彦藤 多喜子 | 後藤 順子 | | |
| 佐藤 勝利 | 蓮田 笑子 | | |
| 渡部 ヨシエ | 村上 みちよ | | |
| 八島 正則 | 若生 春美 | | |
| 内村 喜美子 | 古内 宣則 | | |
| 本間 敏夫 | 半沢 智賀子 | | |
| (東京エンゼル) | | | |
| 大関 正子 | | | |
| (生協国見店) | | | |
| 松浦 雅孝 | 後藤 キヨ | | |
| 矢吹 正本 | 間 公都 | | |
| 橋本 富寿男 | 佐藤 公男 | | |
| 斎藤 真義 | | | |
| (国見町農協) | | | |
| 星野 美和 | | | |

(鬼わさび本舗)

- 古山 隆
- 菅野 洋子
- 鈴木 喜久雄
- 佐藤 一男
- 鈴木 義夫
- 菊池 孝子
- 島貫 芳宏

(名鉄レストラン)

- 遠藤 一夫
- 笠松 勝善

(商工会)

- 半沢 豊
- 鈴木 正春
- 大森 忠治郎
- 槐 月辰也
- 松浦 シゲ子
- 阿部 邦雄
- 遠藤 ヤイ子

(役場)

- 松浦 郁子
- 佐藤 孝
- 小西 春彦

ひ と こ と

献血するのは今回で二回目です。全然痛みも感じないし、血液検査や血圧測定もあり、自分の健康状態をチェックする意味でも、これからでもできるだけ協力します。



村上 みちよさん (国見製菓)

今日は体調も良いので四〇〇cc献血しました。前回(七月)も四〇〇cc献血しましたが、二〇〇ccと変わりないですね。私

の血液を必要としている多くの人のために、今後も協力します。



阿 部 洋 一さん

日本赤十字社から 銀色有功章

三十人以上の献血者などに贈られる銀色有功章が、次の三名の方に伝達されました。



大森 忠治郎さん



半沢 豊さん



鎌水 正春さん

交通事故撲滅を誓う

桑折・国見 交通安全町民大会

昭和六十三年年度の桑折町・国見町交通安全町民大会は、十二月三日、午後一時三十分から桑折町福祉センターにおいて、両町の交通安全推進団体の関係者約三百名が出席し開かれました。

大会長の菊田芳衛桑折町長が「交通安全の重要性を認識し、悲惨な交通事故を絶滅して、明るく住みよい町づくりをしましょう」と式辞。



▲多くの町民が参加した交通安全大会

続いて小学生、婦人、高齢者の立場から交通事故防止への提言があり、高齢者の立場で、町シルバー交通安全推進隊の斎藤正美さんが発表を行い、推進隊の活動報告と「交通安全の意識

の高揚のため、余力をもって地域社会に奉仕します」と訴えた。最後に「安全で快適な交通社会の実現のため、両町民の総力を結集し交通事故防止にまい進する」と大会宣言を満場一致で採択して参加者全員で誓い合いました。

席上、交通安全功労者に対して表彰が行われ、当町からは次のかたがたが受賞されました。

◆大会長、桑折警察署長表彰
○交通安全功労者（敬称略）

吉田 喜三（藤田）
児島 明男（大木戸）

○交通安全優良校
小坂小学校

酒飲み運転の徹底追放！

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動は、十二月十日から来年一月九日までの一ヶ月間行われます。

この時期は、交通の混雑、早い日没、積雪、凍結等道路環境が悪くなります。又、忘年会、新年会など酒を飲む機会も増えます。運転者にとって最も注意しなければならぬ時期です。

今年の交通事故状況をみてみると発生件数、死傷者数ともい

づれも増加、死者数では桑折署管内でも五名と昨年に比べ一人増、県全体でも十数年ぶりに二百人を突破する見込みで、最悪の状態となっています。

その特徴をみると、若者の無謀運転による交通事故が多発していること、信号無視などの悪質違反による事故の増加、高齢者の事故が相変わらず多いことなどがあげられます。

こうしたことから、交通ルールの徹底と交通マナーの普及、実践を目的に県民運動が展開されています。

明るい年末年始を過ごすためにも各家庭、職場などで交通事故防止について次の点でよく話し合いをしましょう。

- ①家庭、職場から酒飲み運転を出さない。
- ②積雪、凍結時には安全運転のため、時間に十分な余裕をみて運転しましょう。
- ③薄暮時に自転車から帰宅するみなさんは、自分の存在を知らせるためにも必ずライトをつけて乗りましょう。
- ④車に乗ったときは、シートベルトを締めましょう。

冬道・新時代の先駆者

スタッドレスタイヤ

“粉じん”で主役交代

毎年冬期間になると問題にされるのがスパイクタイヤによって削られた道路粉じん。きれいな空気が汚され、道路周辺ではまるで未舗装の道路において砂ぼこりが立っているような状態になっていきます。環境の悪化とともに懸念されるのが交通安全上の問題です。道路標示が消されてしまい、ひどい所では道路が削りとられてわだちのようになり自動車はもちろん、自転車などの通行にも危険な状態となります。そして、毎年春にはベントをし直すなど、大きな社会問題を引き起こしています。

何より心配されるのは粉じんの人体への影響。粉じんの肺への沈着などが見られ、軽度ではあれほどは好ましくありません。町全体がくすんでしまうほどの粉じんの中を歩く人が健康への影響を懸念するのも無理のないことです。

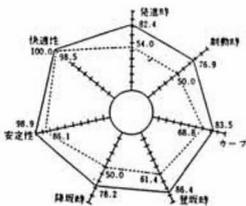
脱スパイクで

きれいな空を

スパイクタイヤは昭和三十八

スタッドレスタイヤの評価

(昭和六十二年度)



*注意

- 1. 圧雪路 …… 凍結路
- 2. 数字は「普通」以上の評価をした者の割合である(%)

ふるさとの文化財

57

国見の一里塚

菊池利雄



▲藤田一里塚跡航空写真（江戸より75里）

江戸時代、全国の主要街道には一里塚の設置がみられ、これを近世の初めに描かれた、「米沢藩国絵図」(文書)で国見町についてみれば、奥州道中・羽州街道および貝田宿より分岐する梁川道沿いにその分布がみられる。

奥州道中「五万石本陣(向原野陣地)」

の一里塚は、慶長九年(一六〇四)に將軍徳川秀忠が「諸街道二里塚つき申可」旨の指令に基づき築かれたもので、これを當時上杉景勝領であった当地についてみれば、「慶長九年二月諸国二里塚(二里塚)立、三月四日秀忠公ノ命ナリ、東海道及越後・奥州の海(街道)二築キアルルハ、五月下旬落成ス、此節米沢(長井)・福島(伊藤)・モ里(蝦夷)を基点に、三十六町(六十丁)を一里(約四キロ)として、主要な街道の両側に築かれ、塚には榎などが植えられていた。旅人はこの一里塚を見て目的地までの道のりの目安としたり、運賃を算定する際の基準として使われていた。県内で現存する代表的な一里塚としては、国史跡の須賀川一里塚があるが、多くは廃壊して原形が失われたものが多い。国見の一里塚も現存するものはないが、明治九年(一八七六)の地租改正時に作成された地積図・丈量帳や近世の村絵図によって、かつての所在位置を検討してみよう。

藤田の一里塚は「藤田村地籍図」(明治十七年地籍簿)によれば、瀧川より藤田宿寄り約八〇丁の天王畑宅、四二番、と滝川四、二

三番は、旧国道を隔てて「明治九年調モレ、一里塚」とあり、「丈量帳」では滝川分のものは一里塚、長四間、ヨコ四間、十九歩、天王畑分の方は「長六間、ヨコ五間四分、宍敵二歩」(図面では両塚とも不等辺多角形状に描かれており、天王畑側の一里塚跡には底部の痕跡がわずかながら残されている。

貝田の一里塚は、元禄十五年(一七〇二)の「伊達郡貝田村絵図」(写)「福嶋(長井)宿」によれば、牛沢川の南岸付近にあった貝田宿制札場から六丁二五間半(約七五〇丁)に、仙台領まで一丁五〇間(約一九五)の所に描かれており、「貝田村地籍図」(国見町役)には旧国道を挟んで字松村十一番地と、字竹根二十番地が半円状の図形に描かれている。かつての一里塚跡であろう。しかし、この地は明治二〇年鉄道東北本線の開通に伴い、古い地割は消え失せ、現在地の確認は困難である。

羽州街道小坂の一里塚は、小坂宿町入口の両側に築かれている。(小坂宿町志)

参考文献「国見町史」「歴史の道」報告書「奥州道中」「羽州街道」「仙道及び会津における一里塚に関する諸問題」安田初雄

国保コーナー

保険証を大切に!

最近、保険証の再交付を受ける方が多くなりました。再交付を受ける事由は、ほとんどが、家の中でのしまい忘れです。急病のとき、保険証がすぐ見つからないと大変です。保険証は、家族のだれが使っても、使い終わったら同じ場所大切に保管してください。

お酒と健康

年末年始の飲みすぎに注意

適量のアルコールは、胃液の分泌を促進させる、血液の循環をよくする、ストレスを発散させるなどのメリットがあります。ところが、飲みすぎると肝臓や胃腸の障害を招き、高血圧などを悪化させ、さらにアルコール中毒や酒乱など健康生活を破壊します。したがって健康的な飲み方の第一は、自分の適量を守ることです。

どれぐらいならいいか

酒の量は、一般的に清酒なら

二合以内ですが、さかすき一杯で酔う人もおり、個人個人によってだいぶ異なりますから、自分の適量をまず知ることが肝心です。

清酒で一合、ビールで大ピン一本、ウイスキーならダブル一杯くらい、この程度でおさえられれば、健康的な飲酒量といえるでしょう。

交通事故にあつたらすぐ国保へ



国保被保険者の皆さん、もし万一、不幸にも交通事故にあいケガをした場合、被害者の治療費は、原則として、被害者が負担することになります。加害者が、すぐ損害賠償をしてくれないときは、国保で治療することができません。

しかし、このような場合、国保でも負担する治療費は、あくまでも一時の立替えです。国保を使う場合は、必ず国保へ届ける必要があります。また、安易な示談は、国保の損失ばかりでなく、被害者に思いがけない治療費を負わせる結果となります。

後遺症ということもあります。示談は慎重に、町国保係に相談してください。



自衛官募集

現在、防衛庁では自衛官・自衛隊生徒を次の要領で募集しています。

〔募集事項〕

◎一般男子自衛官

資格…18歳以上25歳未満男子
試験…月々金(祝祭日を除く)の毎日、試験場は自衛隊福島募集事務所

◎二等陸・海・空士

資格…昭和63年度高等学校卒業
業予定者の男子

◎自衛隊生徒

資格…昭和64年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で中学卒業者(見込みの者)

受付…63年11月1日から64年1月7日

※詳しくは、自衛隊福島募集事務所(☎三一五五二九)、または役場住民課へおたずねください。

年末年始水道

修繕工事当番表

国見設備	85三〇六三
国見ガス住宅設備	85四一〇七
国見水道	85二一三七
高野電気	85二七二二
徳江電気	85二七二〇
徳江農機	85二〇六七
国見建工	85四五二二
南後藤設備	85三三二一
半沢水道工業所	85三一〇三
南斎久設備	85三一九八
南国見設備	85三三〇一
南国見ガス住宅設備	85四一〇七
国見ガス住宅設備	85二一三七

年金手帳を

たいせつに!

年金手帳は、国民年金、厚生年金共通の手帳です。はじめて国民年金又は厚生年金に加入したときに交付された記号番号は一生を通じ変わらないものです。手帳は国民年金への加入の記録等を管理するためのものですから、たいせつに保管しましょう。

次のようなときには届けをし
て下さい。

○年金手帳を二通以上もっている場合

○年金手帳をなくしたとき

○氏名が変わったとき

詳しくは、役場住民課年金係(☎八五二二一一、内線一三五)へおたずねください。

昭和六十四年度 奨励学生を 募集



当町では、故山田長一氏が町出身者の育英・奨学のために寄付された財産などをもとに、奨学資金制度を実施しています。

六十四年度も、次の要領で奨励学生を募集いたします。希望の方は町教育委員会までお申し込みください。

現在、現在在中学三年生で希望する方は、県北中学校へお申し込みください。

- ◆修学資金(毎月)
 - 募集人員 若干名
 - 貸与金額 高校八千円以内
- ◆入学支度資金(入学時に貸与、修学期間内に返還)
 - 募集人員 若干名
 - 貸与金額 高校十万円以内

高専十万円以内
大学二十万円以内

◆申し込み期間
昭和64年1月5日から1月23日まで

◆申し込み場所
国見町教育委員会

※国、県や他の団体から同種の奨学資金の貸し付け、または給与を受けていないことが前提となります。

詳しくは町教育委員会(☎八五二二一一、内線二二二)におたずねください。

藤田保育所の 入所児童を募集

藤田保育所では、昭和六十四年度の新入所児童を次のとおり募集いたします。

◆受付期間及び時間

昭和64年1月26日～1月31日
午前8時30分から午後5時まで
(28日(土)は午前中のみ。29日(日)は除きます。)

◆受付場所
国見町役場 住民課福祉係

◆対象年齢
1歳から未就学児(昭和64年4月1日現在)

◆募集定員
一〇〇名

◆持参していただくもの

昭和六十四年度 幼稚園児を 募集



町教育委員会では、就学一年前の幼児を対象として幼稚園児を募集いたします。

◆申し込み期間及び時間
昭和64年1月10日(火)、11日(水)午後1時から4時30分まで

◆申し込み場所
藤田幼稚園、森江野幼稚園

(申し込み用紙などは各幼稚園にあります)
※詳しくは「かいらん」をご覧ください。

今月の納税

十二月は、町県民税・国民健康保険税(第四期)の納税の月です。

お忘れなく、納期内(十二月二十六日まで)に、今年の町税を完納しましょう。



盛大に文化祭を

開催

第十八回国見町文化祭は、町文化団体連絡協議会(秦三郎会長)と文化祭実行委員会が主催し、町と町教育委員会、公民館の後援で十一月三日から二十三日まで、町公民館と町民体育館を会場に、盛大に開催されました。



▲総合展示会風景



▲日頃の練習の成果を發揮 (音楽発表会)



▲芸能発表会

の音色が会場に広がりました。午後からは、芸能発表会第一部が開催され、大勢の町民が詰めかけた会場では、各団体発表者の熱演に盛大な拍手が送られました。

また、この夜開催されたダンスパーティーにも愛好者がたくさん参加し、秋の夕べを社交ダンスで楽しみました。

二十三日には、今年の文化祭を締めくくる芸能発表会(第二部)が開催され、会場いっぱい聴衆の前で各団体とも、日頃の練習の成果を十分に発揮できたようです。

近年文化活動に対する関心が高まる中で、町の文化を大成させるこの文化祭も、ますます充実、発展してきています。来年は、文治五年奥州合戦から

八〇〇年、そして芭蕉の奥の細道から三〇〇年を迎えますが、文連としてもこれを記念する事業を検討しております。

成人学級で

「川柳」を学習

成人学級では、年間計画に基づき、去る十一月九日(木)、講師に保原町の川柳詠社「三日坊主」を主宰し、福島民友新聞社「一世相川柳」の選者でもある佐藤良子先生をお迎えし、「川柳入門」について学習しました。

初めに、佐藤先生より、川柳とは何か、更に川柳の古い立ちから現在に至る流れ、古川柳、時事川柳などについて実例をもとにしてのお話を興味深くお聞きしました。

その後、「友」という席題を写えられ、各自とまどいながらも苦心して川柳を作り、先生からひとりひとりの作品が読み上げられ、指導をいただき、初心者とは思われないすばらしい力作に感心しながら鑑賞し合いました。

そして、この学習を機会に、川柳についていくらかでも理解と関心が深まっていくことを期待したいとお話を胸に刻みながら、学習を終えました。



▲「川柳」について学習 (成人学級)

募 集

- ◆ 親子スキー教室
 - 期 日 一月二十九日(日)
 - 時 間 午前八時出発
 - 場 所 二本松塩沢スキー場
 - 参加料 一人一、五〇〇円
 - 傷害保険料を含む
 - 定 員 七〇名
 - 参加資格 原則として親子(四年生以上)
 - ※ 参加申し込みは、参加料を添えて直接公民館へ。定員になり次第締切りますので、お早めにご連絡ください。

年末年始の

休館のお知らせ

十二月二十八日(木)より一月三日(火)まで、休館日となります。また、一月四日(木)は各施設とも点検整備のため休ませていただきますので、よろしくお祈りします。

好評だった

テーブルマナー講習会

来る十二月三日(土)午後六時から、公民館に於て女性を対象としたテーブルマナーを開催しました。福島伯爵軒に講師をお願いし、三十六名の参加者がありました。



▲緊張しながらのテーブルマナー

参加者はそれぞれ何回目かだったのですが、それでも最初は緊張していたようです。椅子のかげ方、ナプキンの使い方からはじめて、ナイフとフォークは外側から、スプーンは向こう側にすくって飲むという基本的なことから講義を受けました。オードブル盛合わせから最後のコーヒーマデ、進むうちに緊張感もほぐれ、和気あいあいのうちに楽しく食事ができました。今回のメインはサーロインステーキで、参加者全員が大へん好評を得ました。

国見の民話と 竹トンボづくり

少年仲間づくり教室

十一月二十七日午前九時から町民福祉センターで、教室生五十名が参加して、国見の民話と竹トンボづくりをしました。民話の講師には、国見民話の会会員の内池和子さんの民話で、内容は、「おしの人」の伝説の



▲竹トンボ作りに挑戦

ほかに数話、また、手づくりの紙しばい「滝川の伝説」を楽しく見、聞き、教室生は、地元の伝説を知って大変興味深げでした。それから竹トンボづくりに挑戦しました。講師には、サークルばけつと会員の指導のもと、小刀で、指を切ったり、キリで、指を刺したりの悪戦苦闘の末、最後には、全員、すばらしく高く飛ぶ、竹トンボを完成させました。

ジュニアリーダー

研修終了

十二月三日(日)本年度最後の研修会が開催されました。閉講式では公民館長が「地域の中の中学生」について話され、研修生は熱心に聞いていました。ひきつづき、来年の研修について話し合いをしました。

その後、町内一円のオリエンテーリング大会を行い、ベアを組んで二十一ヶ所にセットされたチェックポイントを地図をたよりに走り周りました。

天候にも恵まれ、規定された60分内にも全員ゴールすることができ、参加者は最後の研修を思う存分楽しみなが、来年度に開催される研修に意欲を然やしていました。



書き初め

年賀状は筆ペンやワープロですました人も、書き初めはやつぱり毛筆でという人が多いようです。書き初めを書くのは主に学童ですが、最近はその燃えがらが高くなること書か上手になるとされいます。書き初めをする人が増えていきます。

年儀札のひとつとして行われていたようですが、寺小屋教育の普及とともに盛んになりました。また、江戸の文人たちの間でも行われていました。書き初めの作品は、左義長(主に一月十四日または十五日)の時に門松とともに焼き、その燃えがらが高くなること書か上手になるとされいます。一棧でもあったのです。



書き初めは、鎌倉時代から「文化財防火デー」です。この日は、昭和二十四年に法隆寺金堂の壁画が焼損した日にあたります。この日を中心に文化財の消防・防災設備などの点検整備などが行われます。わたしたちも文化財を拝観するときなどは、防火に注意したいものです。

※左義長……正月に行われる火祭の行事。お盆ともいって、火祭によって荒ぶる精霊を追い払う行事。

わだ い



一足早く

もちつきを楽しむ

十二月二日、藤田保育所の子どもたちが一足早いもちつきを楽しみました。



▲千本特でもちつきを楽しむ子どもたち

母子衛生事業功労者に

安藤トヨさん

第十七回福島県保健衛生総合大会が、十一月十六日、福島市の県文化センターで開催され、安藤トヨさん（前田）が母子衛生事業功労者の表彰を受けました。

安藤さんは二十四年にわたる、町母子保健推進員として地域の母子衛生事業向上に大きく貢献され、今回の受賞となりました。



▲表彰状を手に喜びの安藤トヨさん

大木戸小学校で

焼きいも会

曇り空で肌寒かった十一月二十五日、大木戸小学校で児童会（渡藤美津子会長）が中心とな

って恒例の「焼きいも会」を行いました。

今年六月初旬に、広さ約一アールの学校の畑に児童全員が一入二本づつのサツマイモの苗を植え、草むしりなどをして、十月末の収穫を楽しみに待っていました。

二十五日は、児童が持ち寄ったき木に火をつけ、アルミフオイルに包んだサツマイモを入り、約一時間でおいしい焼きいものできあがり。なかには、焼き過ぎて炭のようになり食べられないものもありましたが、さっそく各教室で焼きいもをほお

りました。自分たちの手で苗を植え、手入れをし、収穫したサツマイモの味は格別で、みんなおいしく口に食べていました。



▲焼きあがったばかりのいもに児童たちは大喜び

国民年金優良町として

社会保険庁長官表彰

毎年十一月は国民年金制度推進月間です。その行事の一環として、去る十一月十一日、福島市の杉妻会館で社会保険庁長官表彰伝達式が行われました。席上、国民年金事業実績の優良町として国見町をはじめ、県内で三町村が表彰されました。

租税教室が

開かれる

去る十一月三十日の午後、町公民館において、町納税貯蓄組合連合会主催による租税教室が開かれました。



▲熱心に講義を聴く参加者の皆さん

席、身近かな税のあらましについて、税務署・県税事務所・町税務課職員から説明をうけ、皆さん熱心に勉強されました。特に、今話題の消費税に関心が寄せられるなど、一段と「税」に対する理解が深まり、盛会のうちには終了しました。

編集日記

○みぞれの降る元旦の朝六時一分の電車に乗り、普通列車を乗り継いで青森へ。予定より三〇分程遅れて夜六時頃青森駅着。途中、駅の立ちそばを四杯。青森は猛吹雪。こまで来たついでに連絡船に乗り函館へ渡ることに決定。函館は快晴。夜景を見て、帰りもまた連絡船。普通列車に乗って我が家へ。車中では疲れたただただ眠るばかり！友人と二人で過ごした。なつかしい去年の正月でした。

○師走に入り、街ではジングルベルが鳴り響き、今年も残すところあとわずかになりました。今年はソウル五輪の開催や、異常気象の影響で農作物が軒並み被害を受けるなど明るいニュースや暗いニュースなどいろいろなことがありました。これから年末年始にかけて忙しい日々が続きます。皆さん、健康で良いお正月をお迎えください。(K)